学年だより
ドリマップ
You can dream up new idea anyone never seen.
東海市立加木屋中学校 １年生
2024年２月29日 No13

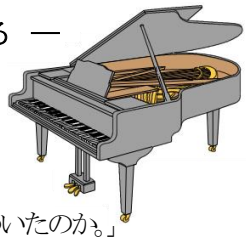
中学校「卒業」が意味することは何か?!

本格的な冬の寒さが来たかと思う間もなく、雨風をもたらす風に春の兆しが感じられるようになりました。「観測史上最も…」という記録的暖冬を過ぎ、季節はすでに春を迎えようとしています。

弥生３月を目前にして、加中では卒業式の準備が始まりました。中学校の卒業は、義務教育の卒業であり、４月からの進路がそれぞれ異なる「卒業」です。ことによっては、今後もう顔を合わすことがないかもしれない「卒業」です。卒業していく３年生の背中に見えるものは何でしょう。加中で過ごした３年間の「歴史」ですか…。これから始まる生活への「希望」ですか…。２年後の「自分の姿」ですか…。さまざまな思いが行き交う「卒業」です。在校生として、卒業生への思いが伝わるように、前日までの準備や当日に力を尽くしていきましょう。

締めくくりの「今」こそ、考えよう… 中１から中２を迎えるときの「進路」について

― 夕暮れ迫る音楽室に響くノクターン。１人ピアノに向かう生徒に、巡回中の日直教師が声をかける ―



教 師：「や、おどろいたなぁ。こんな時間にどうしたんだね。ユーレイかと思ったぞ。」
生 徒：「あ、先生。すみません、もうこんな時間……。」
教 師：「下校時刻を過ぎているのは感心せんが、ピアノの腕はさすがだね。プロ級。」
生 徒：「いえ、わたしのピアノなんて…、これで最後って決めましたから……。」
教 師：「ほう、音楽科への進学を両親に反対されたんだな。ずいぶん迷っていたのに、本当に決心はついたのか。」
生 徒：「先生。高校って親が決めるんですか。本人が決めるんですか。誰が……。」
教 師：「まぁ、待ちなさい。**進路を考えるというのは、イコール受験校を決めるということではないんだよ。中１から中２のこの時期には、焦らずにやるべきことがあるんだよ。**」
生 徒：「わたし、ピアニストになるって夢は捨てたくないんです。がんばってみてダメなら、ピアノを活かした別の道もあるはずだって、親に言ったんです。それなのに……なのに。先生、どうすればいいんですか。」
教 師：「ここに**ドリマップ** No. 13 がある。この裏面記事を読みなさい。**最終の進路選択・決定はいつ頃なのか、大まかな見通しをもつんだ。**」
生 徒：「え、**近い将来を考えよう「２年後の３学期」**そうか～。先生、わたしもう一度両親と話し合ってみます。」

― 生徒は急に元気になり、軽快なラグタイム・ジャズナンバーを奏で始める。教師はピアノの脇に立ち、「まいったな～、早く帰れって言いにくくなっちゃったよ。」と困惑しつつも、満足そうな笑みを浮かべ何度もうなずく。 ―

……そして、やっぱり言った。
教師：「気が済んだか。とっとと帰りなさい。」
生徒：「すんませ～ん。」

３ 月					
1	金		17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	
4	月	生徒議会	20	水	春分の日
5	火	①～③卒業式練習、記念品授与式、同窓会入会式 火④、4時間授業	21	木	45 分授業 大掃除 通信制(後期選抜)
6	水	卒業式 給食なし	22	金	修了式
7	木	水曜日の時間割 かがやきボランティア	23	土	
8	金	公立一般合格発表	24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	
11	月	時間割変更 学活→道徳	27	水	
12	火	50 分授業、4時間授業 学年レク(予定)	28	木	
13	水	50 分授業、4時間授業	29	金	
14	木	50 分授業、4時間授業 学年レク予備日(予定) 定時制(後期選抜)	30	土	
15	金	45 分授業 時間割変更 金①～④、金⑥、学活 生徒会役員選挙	31	日	
16	土		3年生の入試日程を記載 (現時点での予定です。)		

進路情報 はじめの一歩

1年生のうちから知っておきたいこと
少しずつでいいから知っておきたいこと
自分の将来のために知っておきたいこと

近い将来を考えよう!

2年後の3学期

3月11日(月)、2年生向けの進路説明会が行われます。1年後の進路選択に向けて生徒、保護者ともに考え始めるためのきっかけとなることでしょう。さて2年後には、今の1年生、みなさんが進路を選択するときがやってきます。2年後、2026年。中3の冬～春、その頃はどんな様子で進路選択、受験が進んでいくのか、自分はいつごろ進路を決めるのか。概要を追ってみましょう。

11月中旬　到達度確認テストⅢ

加中祭明けの定期テストです。国数社理音美技家保体英の全教科の形で行われる中学校最後の定期テストです。テスト後、**3年生2学期の評定**が算出され、**私立・公立高校はこの成績で受験・受検**することになります。高校受験する3年生にとって正念場となります。

私立推薦受験希望

この時点で、私立高校・専修学校への進学を希望する場合は、推薦受験希望を担任に伝えてください。担任は生徒個人の資料を作成し、進路指導委員会で推薦の可否を問うことになります。

12月中旬　2学期懇談会

冬休み前、2学期懇談会では、私立受験について決定していきます。私立高校・専修学校は原則として3年生2学期の成績で受験することになるので、その評定合計（9教科45点満点）と、実力テストの得点などをもとに、受験する私立高校を決定します。

公立推薦受検希望

公立高校の推薦受検は、自己推薦です。本人による申し出をもとに、進路指導委員会で推薦の可否を決定します。「人物に優れ、他の模範となる…」ことが前提となっています。

12月下旬　私立・専修出願

私立高校・専修学校に願書を提出する「出願」に行きます。（今はほとんどが「ネット出願」です）**大切な書類をきちんと扱う習慣**をつけておきましょう。

1月上旬　到達度確認テストⅣ

年明け、冬休みが終わるとすぐ中学校最後の定期テストがあります。11月の定期テスト後1か月ほどしか期間がないので、範囲が狭くて逆にたいへんな面もありますが、最後まで頑張りましょう。

1月中旬～下旬　3学期懇談会

公立高校受検希望者を対象に行われます。3年生2学期の成績をもとに、受検校の組み合わせを決定します。

私立推薦入試

この頃、最初の受験本番となる私立高校・専修学校の推薦入試が実施されます。ほとんどは翌日～3日後に合否結果が通知されます。

1月下旬　私立一般入試

私立高校・専修学校の一般入試は3日間にわたって行われます。条件さえ合えば**最大3校受験することが可能**ですが、3校受験は精神的にも体力的にもキツいようです。

公立出願　[推薦・一般]

推薦が2月1日頃。一般は14日頃までにWeb出願を行います。（今年度よりWeb出願に変更しました。）また、定時制前期選抜の出願は2月5日頃までにWeb出願することになります。

2月上旬　公立入試［推薦］

推薦・一般ともに同日に選抜が実施されていた入試日程が昨年度より改変されました。推薦入試は面接と調査書を使った選抜が行われます。

定時制前期選抜入試

公立全日制入試の前に、定時制前期選抜入試が実施されます。合格発表は試験の1週間ほど後に行われます。

2月下旬　公立入試［一般］

昨年度より2回行っていた学力検査が1回に変更されました。1回の学力検査を基に最大2校を受検します。学力検査後、面接を課す高校を受検した場合は面接が行われます。県内の公立高校はA・B2つのグループに分かれているので、2校受検する人は最大で3日間にわたって入試に臨むことになります。緊張感を維持するのは大変です。2校受検はせず、公立は1校受検で、落ちたら私立という人も少なくありません。

3月上旬　公立合格発表［一般］

例年卒業式後に合否が発表されます。受検生は受検したいずれかの高校に発表を見に行き、合格していた場合はWebから合格通知書等の書類を印刷することになっています。全ての人が笑顔で終えられることを願っています。

3月中旬　定時制後期選抜入試

定時制課程後期選抜の入試が実施されます。前期選抜で約半数の定員が埋まっているので、後期選抜は「狭き門」となります。合格発表は3月中頃になります。